



地域紹介

気が合う仲間集まり 50年近く活動続く

No.040

上之馬場 むつみ会

高山川の西の高台にある上之馬場地区。そこで50年近く前から、活動しているのが「むつみ会」です。みんなで少しずつ積立金をして、くじ引きをして当たった人が必要なものを買うための集まりが、会の始まりだったといえます。

近年では、この積立金で旅行や花見などをしてみんな楽しんでいそうで「みんな心地が良くて、気が合うから長く続いているんですよ」と代表の橋口カツ子さん。現在のメンバーは11名で毎月第3水曜日にカツ子さん宅に午前中から集まって昼食をさみ夕方まで、踊りのけいこをしたり、カラオケをしたりして、ゆつくりと楽しんでいそうです。



盛りだくさんのお昼ご飯



おしゃべりは尽きません



「しよんが節」を披露

地域について尋ねてみると、昔は馬場があったこと、高台なので井戸が掘られていたこと、この集落の始まりは下飯島からの移住（『高山郷土誌』によると天保9年（1838年））によること、やわら（柔道）が伝わっていたことなどを教えてもらいました。また、「しよんが節」を歌えないと青年団に入れなかったということ、男の子たちがけいこするのを聞き覚えたというその唄も披露してくれました。ほかに、戦時中の話や昭和13年水害の話、カッター（めんこ）などの遊びやことばし（ランプのようなもの）などの道具の話と次から次へと話題が尽きずに盛り上がり、笑いも絶えませんでした。



※サロンの立ち上げなどに関するご相談は肝付町社会福祉協議会へ。 ■ ☎0994(68)8188